



題字
宮城県知事 山本壯一郎

発行所
仙台市上杉一丁目2番16号

編集 宮城県畜産会

電話 (62-9180)

編集発行人 百井英一

定価 1部60円

印刷所 KK東北プリント



TBC夏まつり・牛乳チャリティーバザール

(青葉山公園)

もくじ

豚の系統造成事業	2
自給飼料の見通し	3
昭和58年度計画生産の現状について	4
最近の豚コレラ発生について	4
動物用医薬品販売員認定事業について	6
オーエスキーブ	7
繁殖豚における自給率向上のための	
飼料給与技術の確立	7
私が見た頗もしい農業経営	9
隨想	10
畜産物市況の展望	11
行事のご案内	12

豚の系統造成事業

宮城県畜産試験場

1. 系統とは

相互に血縁関係のある個体で構成された集団。血縁関係にあるということは、遺伝的に似通っていることを意味する。即ち、遺伝的に似通った個体の集団、遺伝的に齊一性の高い集団、これが系統のもつ実質的な意義である。どの程度の血縁関係があったら系統と呼べるかについては確定的なルールはない。豚の場合、実際上の立場から、平均血縁係数20%以上を一応の目途とすると、親子の血縁係数が50%，全兄弟の血縁係数が50%，半兄弟25%である。これらのことから平均血縁係数20%というと、お互いに半兄弟と同様な遺伝的似通いをもった個体の集団と考えられる。

2. どのようにして系統を造成するか

閉鎖群にすること、雄雌とも始めに基礎豚を交配した後は、その子孫の間だけで繁殖を続け、決して途中の世代で外からの血液を入れないことである。

品種は、ランドレース種で頭数は雄10頭、雌50頭である。選抜は、系統繁殖や産肉能力の高い系統を作出し、豚の経済性を高めるための手段であり、1頭か2頭の格好の良い豚を造り、共進会で金賞でも獲得しようというのとは別のものだということである。前述の如く、系統造成中の選抜は、能力中心である。このためには、あまり若い時期には選抜のための信頼すべき情報がでてこないので、若い時の選抜は軽くし、体重90kg前後の時点で本格的な選抜をするが第1の特徴である。第2の特徴は1腹から1頭(雄)位を調査豚として後代検定に組入れ、屠体を調べた成績を、同腹で育成に残ったもの(種豚候補)の本格的選抜の資料にするという「兄弟検定」方式である。第3の特徴は初産で次代をとり、母豚は初産で更新、雄もまた同世代の雌にだけ供用して更新という点である。これは世代の回転を速くし7年なり、8年なりの一定年限内で、

できるだけ多くの回数、選抜の効果を積み重ねるのが狙いである。この初産回転方式だと、1世代がほぼ正確に1年で廻る。

交配は兄弟交配のような強い近親交配は避ける。集団内では比較的血縁の薄いものの同志の交配を行い、世代当たり3%位の平均血縁係数の上昇がみられるので、7~8世代で20%を越し、この段階で系統が一応できたものと考えてよかろう。

基礎豚の重要性、よい系統ができるキーポイントは、閉鎖群育種であるため導入時の基礎豚の選定が重要であることはいうまでもない。

3. どういうふうに系統豚ができるか(完成時目標)

- (1) 1日平均増体量 800 g
- (2) 背脂肪の厚さ 2.4cm
- (3) ロース断面積 20 cm²
- (4) ※ハローセンテスト 開性淘汰 ※ムレ肉豚淘汰

4. 完成時のセールスポイント

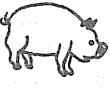
- (1) 発育が速く、肉質の良い、産肉性に優れている豚の完成
- (2) 地域に合った雌系としての、ランドレース種の完成
- (3) 連産性に富み、肢蹄の強い、強健性の豚の完成

5. 系統豚の利用をどうするのか

系統豚造成過程において、遺伝的にある程度安定する4世代より、畜産試験場において他県系統豚との組合せ検定を実施し、組合せ結果に基づき農家段階において、系統豚の実証展示を推進するとともに、系統認定時に円滑な利用が図られる体制を整える。

系統豚の維持は、県内の主要な養豚地区に経済連、農協等が主体となり維持施設を設置し、系統豚の維持を図る。維持施設より譲渡される「系統豚」は、改良指定種豚場、養豚団地で増殖させ、一般養豚に広く「系統豚」として配布し、種豚の供給を図る。

(研究第2部長 米倉毅)



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店

株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL 093121
仙台店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL 094306
鶴岡店 鶴岡市大字有目字東通り57~1 TEL 0240963
いわき店 いわき市常磐湯本米田3 TEL 0246440300



さわやかに 健やかに
おいしさいっぱいの牛乳で
今日もいきいき

森永ハイグラン牛乳

宮酪乳業株式会社
名取市飯野坂五丁目1番3号
電話 (02238) 4-5181

自給飼料の見直しを

宮城県畜産課

本県の草地造成は、昭和45～6年迄は年間1千ha前後の開発が行なわれておりましたが、最近は100haを割っております。

これ等は複雑な土地の権利がからみ、手近にある土地が利用されず、奥地化、小団地化しており、土地資源のとぼしさが伺われます。しかしそれ以上に自給飼料に対する考えが薄れ、安易に求め易い購入飼料に頼る農家が多くなっていることは事実ではないでしょうか。

養豚や養鶏のように、主たる飼料が濃厚飼料を中心として飼育されるものと違い、肉牛や乳牛は草食動物である以上、基本飼料として充分な自給粗飼料を確保し給与することが、農家の生理機能を正常な働きに導びき、農家のもつ機能を充分に發揮させることが土地利用型畜産の本質であり、畜産所得の向上に連がり、飼料価格に左右されない安定した経営となり得るのではないかでしょうか。

配合飼料価格は値下げ値上げと、常に変動しており、7月の値上げに続き再値上げの気配があります。今回の値上げムードは最近のアメリカにおける穀物情勢によるもので、今後更に、きびしさを増す傾向にあり、畜産農家に少なからぬ影響を及ぼすものと危惧されています。

昨年より今年にかけるアメリカの飼料穀物情勢をふりかえって見ますと、

- 1) 1982年産のコーン等穀物の生産は前年の豊作を上回る大豊作で、在庫量が大巾に増大し、穀物価格が低迷しました。(配合飼料価格がt当たり4,000円値下げされました。)
- 2) レーガンは農業政策の目玉に強力な減反政策をとり上げ、在庫減じと、価格の好転を図った。この減反政策が(PIK)計画を上回る在庫量の削減と価格

の回復に功を奏した。(本年7月の3,500円値上げに連がる。)

- 3) 更に予測もしなかった熱波がアメリカ中西部の穀倉地帯を襲い反収に大きく影響し穀物市場は高騰を続けている。(トウモロコシ生産量は対前年比52～3%の見通し)
- 4) またペルー沖の海水温の異変が魚粉原料となるアンチョビの不漁で値上げ気配であり、米ソの新穀物協定は年間輸出量が最高1,200万tと従前の2倍に拡大された。

斯様な事情に加え最近の円安が重なり前回を上回る大巾な値上げがなされる見通しで、この高値相場が生産状況から当分続くものと覚悟せねばならないと思います。この様な情勢では、腰を据えて畜産を営むことはむずかしくなります。

この様な機会にこそ、自給飼料の見直しを真剣に考えるべきではないでしょうか。

自給飼料の確保は仲々容易でないと思いますが、変動の激しい配合飼料事情に充分耐えられる強い体質の経営を築くことが大切ではないでしょうか。

牧草や飼料作物の作付のみが自給飼料ではなく、畦草、堤防草、山草もエサ資源として見直し、更には県内に多数ある公共育成牧場の利用等も巾広く検討すべきと思われます。

自給飼料の確保に必要な補助事業も取組み易い内容に変っております。新しく取組む事業は勿論、既存草地の生産力の向上対策にも対応できる補助事業があります。くわしくは家畜保健衛生所に相談され、基本に忠実な畜産経営に励まれんことを強く望みます。

(草地飼料係 石川 英)

飼 料 は みのり

採卵鶏用配合飼料
プロイラー用配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号

T E L 石巻 0225 (95) 4171~4

畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事 畜舎工事
さく 井 工事 畜舎工事
さく 井 工事 畜舎工事
ポンプ工事 設計・施工
水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地
電話 (0222) (93)2461

昭和58年度計画生産の 現状について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

1. 全国の指定団体別生乳受託販売の状況

4月～7月の受託販売実績は2,334,089tで対前年比は105.8%であったが、4月～5月が対前年比107%台で推移したのに対し、6月は105%，7月は103%台と伸び率が低下して来ている。

飲用向け販売実績は4月～7月で1,413,499tで対前年比101.3%と低迷しているが、この中で6月の異常低温の影響で99.6%と前年実績を0.4ポイント下回ったが、7月に入り対前年比101.0%と若干持ち直して来ているようである。

加工向け販売実績は4月～7月で857,277tで対前年比117.4%と大幅な伸びを示した。

2. 本会の生乳受託販売の状況

4月～7月の本会受託販売実績は54,118tで対前年比は104.82%であるが、それれ4月が104.26%，5月107.2% 6月105.82% 7月102.06%で全国とほぼ似通った生産動向になっている。

会員別生乳生産状況、並びに計画生産目標に対する
別表1 会員別生乳生産状況(4月～7月)

昭和58年8月22日現在

会員	乳量(t)	前年比(%)	計画比(%)	消化率(%)
蔵王	10,026,727.8	105.31	100.05	34.86
宮 酪	14,888,733.9	104.03	102.49	35.06
経済連	9,627,175.5	105.84	101.42	34.54
仙 酪	2,172,060.0	106.69	104.78	35.72
県 酪	8,431,730.5	106.58	106.60	36.83
栗 酪	2,945,689.0	106.04	102.28	35.16
登 米	2,254,190.0	106.01	101.54	34.80
本 吉	2,111,381.5	101.54	90.58	31.14
遠 田	880,810.0	103.72	101.36	34.41
山 田	779,450.5	85.59	77.48	26.79
計	54,117,948.7	104.82	101.48	34.87

消化率は別表の通りである。

用途別販売実績については、本県でも例外でなく6月の異常低温が大きく影響し、飲用向け販売実績は対前年比90.00%と大幅に下回った。その結果4月～7月の飲用向け販売実績は41,968tで対前年比98.86%と約1ポイント低下して推移した。

加工向け販売実績については4月～7月で10,945tで対前年比138.66%と生乳生産が順調に推移しているのに対し、飲用需要の低下が大きく響き著しい伸びを示したが今後の動向が注目される。

(滝沢)

最近の豚コレラ発生について

宮城県畜産課

豚コレラは、豚コレラウイルスの感染に起因する熱性・敗血症性伝染病で、その強い伝染力と高い死亡率のため、世界各国の養豚界に絶えず甚大な被害を与えてきました。最近におけるウイルス学と免疫学の進展と本病の診断、予防法も進歩し、発生は世界的に減少する傾向にあり、イギリスとアメリカでは、ワクチンと感染豚の殺処分の組合せによる撲滅計画を強力に推進し、イギリスでは1971年、アメリカでは1976年以降発生がなく、撲滅されたものと考えられ、その他デンマーク、スエーデン、ノルウェー、フィンランドなどでも発生報告がないようである。

わが国では、クリスタルバイオレット不活化ワクチンを使用時代には毎年多くの豚コレラ発生があり、特に1966年には24,406頭にも及ぶ発生で、大きな経済的損害を与えました。このような状況のもとで、多くの研究者の努力により、効力と安全性にすぐれた生ワクチンが開発され、1969年に実用化の第一歩を見たわけです。当該生ワクチンが野外で使用されるにともな



いつもフレッシュ!!

明治牛乳

明治乳業

発育促進・食欲増進・栄養補給に

ハイミルク

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社

い、1975年11月の神奈川県下における発生を最後に4年間報告がなかったので、僕滅されたのではないかと思われていましたが、1980年5月千葉、茨城両県下で発生し、8月には愛知県渥美半島、10月、宮崎、島根、埼玉、山形、福島、11月には北海道の上川、十勝、東京、12月には栃木に発生し、11都道県に及び50戸5,920頭の6年ぶりの大発生となった。1981年には長野、兵庫、さらに東京都八丈島にも発生、9都県25戸、1,680頭で1982年には、再発生県に新潟、岐阜県が新発生し8道県で21戸1,979頭、1983年に入り7月末現在で栃木、埼玉の2県で2戸88頭の発生を見ている。

最近の豚コレラの発生状況（農林水産省家畜衛生統計による）

年 次	頭 数	戸 数	都道府県
1965	3,478頭	一戸	19県
1966	24,406	一戸	27
1967	16,294	一戸	27
1968	14,406	一戸	26
1969	3,062	66	19
1970	1,958	72	8
1971	1,975	77	8
1972	526	16	6
1973	120	4	1
1974	4,231	10	3
1975	485	17	4
1976	0	0	0
1977	0	0	0
1978	0	0	0
1979	0	0	0
1980	5,920	50	11
1981	1,680	25	9
1982	1,979	21	8
1983※	181	3	2

※ 7月31日現在

本県での発生は1970年岩沼市、田尻町、河南町に4戸92頭が不活化ワクチン使用最後の年に発生を見て以来不幸にして14年ぶりの発生となり、生ワクチン使用以降初めての上陸である。以下今回発生を見た豚コレラについて述べます。

(1) 発生場所及び発生頭数並びに転帰

発生地：遠田郡涌谷町小里字岸ヶ森及び字長根北
発生年月：昭和58年8月5日及び8日

発生頭数：5戸、23頭（母豚21、育成豚1、子豚1）
転 帰：死亡1頭、鑑定殺2頭、殺処分20頭

(2) 発生の経過及び症状

8月3日午後5時岸ヶ森のA農家で発熱、元気食欲不振の母豚が午後3時死亡した旨、笠岳農協K獣医師から古川家保へ通報、調査の結果他農家でも同様症状

の豚が周辺3戸にあることが判明、4日に母豚6頭の血液検査の結果、全頭に白血球数の減少、3頭に核の左転が見られた、翌5日発症豚2頭を仙台家保へ搬入し病性鑑定、解剖所見、血液所見、及び蛍光抗体法による検査の結果「陽性」であったので5日午後8時「豚コレラ」と決定した。

症状は食欲元気不振が認められ、異常豚の存在に気づき、梅雨上りの気温の急上昇のため軽い熱射病と思われ、その後、兎糞の様な便秘、やがて黄褐色の粘液を混じた下痢便、眼瞼結膜の充血腫脹、運動の不協調、後軀の萎縮、歩様躊躇を示し、起立することをいやがり横たわる。従来の発症例とやや異なり、亜急性で個体により症状の軽重や病性の経過などの差があり、体温は40～41.5℃であった。また、流産も3頭あった。

(3) 痘学調査と今後の対策

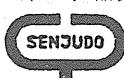
発生は母豚に集中しており、注射済みの肥育豚、子豚、哺乳豚の発生が殆どなく、同居に近い状態のものでも発生が見られないことから今回の発生はワクチンによる免疫賦与が充分でないものに発症したことが伺われた。ウイルスの浸入経路については、健康キャリアー豚が存在するのか、他から持ち込まれたかについて調査中であるが現在のところ不明である。従来の定型的豚コレラよりも病性が軽度で、非定型的でしかも経過も長く、病症の多様性が注目された。（全国的に発生を見たものに、強毒株のH亜型と、弱毒株B亜型が報告されている。）母豚群は子豚時1回のみのワクチン接種が殆どであり、ワクチンがテークしなかった豚のみ発病したものと考えられる。

今後の発生防止対策として、繁殖に対する補強注射、繁殖候補豚の導入時の補強注射、隔離観察を怠ることなく実施し、踏込み消毒槽の設置や健康状態の観察など日頃の予防衛生の対応が必要である。

今回の発生を教訓として今後の対策に万全を期され、本県養豚の健全な発展が図られるよう皆さんのご協力をお願いします。今回の発生に対し関係者全力投球で防護に努めた結果5戸の発生で終息したこと感謝申し上げます。

（衛生係長 佐々木）

医薬品総合商社
動物用薬品、器具機材



株式会社 山田仙寿堂

取締役社長 山田修造

本社／仙台市木町通1丁目5番19号

電話／0222(65)3151(大代表)

営業所／古川・石巻・気仙沼・盛岡・水沢・山形・米沢

もうかる養豚経営は、

品質の良い飼料から

“くみあい養豚用配合飼料”

スーパー ピグ シリーズ



農協・宮城県経済連・全農

動物用医薬品販売員認定 事業について

宮城県動物薬品器材協会

昭和56年事業法改正に基づき「動物用医薬品の使用の規制に関する省令」が施行されました。この事は動物用医薬品の畜水産物への残留を防止し、人体への影響を未然に防ぐ為の配慮からとられた措置です。戦後の食生活の変化に伴い、日本の畜産の飼育形態は大きく変わりました。動物用医薬品も馬から乳牛・肉牛へ、綿羊から豚・鶏と需要の変化と増大に伴なって、人体用薬品と併用して現在に至っております。

動物用医薬品の消費は、畜産発展の担い手として治療から予防へと変わり、厚生省の薬事法に準拠した農水省の動物薬事は、遂に、充実強化され現在に至っている事は御承知の通りです。動物用医薬品が人体用医薬品と異なる点は、経済を度外視した使用は出来ない事で、動物用医薬品販売の宿命として受けとめねばなりません。

動物用医薬品の主な対象は、犬猫などのペット動物や、金魚などの観賞魚を除くと、その殆んどが養鶏、養豚、酪農経営、養殖漁業で飼養されているものは皆経済動物です。従って動物用医薬品は、投与を要する経費と、畜水産物の生産量、飼料効率などを比較検討して、使用するか否かが決められます。因みに昭和55年度の畜産総生産額に対し動物用医薬品の使用比率は1.5~2.0%で10年間の推移を見てもこの比率は変わらないようです。然し全額の絶対少値とは裏腹に、その波及する影響については社会的問題として大きく取り上げられ「生きる為の食料品」から「健康維持の為の食品」と進化し、最近では内容は勿論のこと、包装品に至るまでも、安全性の問題について連日のようにマスコミが取り上げる賑やかさです。顧みれば、畜産振興の掛け声と共に、畜水産業界に対する動物用医薬品が果した役割は真に多大であり、その貢献度は畜産

物の目を見張るばかりの急上昇からも判断でき、動物用医薬品なくして今日の畜産の隆昌はあり得なかつたと申しても過言ではないと思います。然し、高度な知識技術と慎重な取扱いを必要とする、いわば動物の生命に関与するべき特別な物であるにも拘らず、畜産物生産のための1つの生産資材という比較的その取扱いの上からは軽視されていた時代経過が長期に亘ったため、現在に至ってその方向修正を強いられ、業界ぐるみ苦境に立たされている実状です。

以上のような経過を踏まえて、昭和56年、私共(社団法人全国動物薬品器材協会会員数320社)は農水省のご指導により販売員の質的向上をめざして「動物用医薬品販売員認定事業」を実施することになりました。認定事業の内容は、認定事業テキストにより各県毎に県行政機関、畜産団体等の学識者を講師として、年度中、72時間の研修を実施するもので、その研修内容は薬事法関係法規、家畜伝染病予防法、獣医師法、飼料安全法、畜産概論、家畜衛生概論、家畜薬理薬剤学概論、動物用医薬品販売業者の使命と倫理、動物用医薬品の保管管理等で、盛沢山な内容を限定時間内でマスターすることは容易なことではありませんでした。然し、熱心な研修生の努力により、試験の結果は全員42名合格圏内に入り、この事業に対する感心の強さを知ることができました。

かつて動物用医薬品の流通は、「獣医師不在の流通」とか「薬事法違反の常習犯」とかの酷評を戴き日陰の身をかこって参りましたが、この研修認定事業を契機として、正しい流通、正しい使用に大きな転換ができたことは望外の喜びです。

尚、認定合格者には協会のバッヂを交付致します。(今秋の予定)お気付きの事等、遠慮なく御指摘賜り、御教導下さるよう御願い申し上げます。

最後に、この認定研修事業に寄せられた県及畜産団体、獣医師会の諸先生に、誌上を借り厚く御礼を申し上げます。

動物用薬品器材のことなら 古い伝統
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL ⑨ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1
02202 (2) 2278-9
山形営業所 山形市小石川四丁目9-24
0236 (23) 9909-9900
古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28
02293 (4) 2018-9

**WORLD ウルワ
サンショアン**



株式会社 **五十嵐商会**

仙台市卸町五丁目1番地4
電話(0222)96-2525(代表)

オーエスキ一病

中川正裕

オーエスキ一病 (Aujeszky's disease) は、仮性狂犬病とも呼ばれ、ヘルペスウイルスの一種によって起こる急性伝染病で、豚、牛、羊、犬、猫、ミンクなどがある。豚は本病にかかりやすく、幼若豚(新生豚)の死亡率は非常に高いが成豚は大部分が無症状で耐過する。

発生

本病は、世界的に分布しており、特に発生率が高いのはオランダ、米国、フランス、イタリア、シンガポールであり、この中でも米国やシンガポールでは病性も変化し、従来哺乳豚に限られていた発生が成豚にも及んでいる。わが国では、1981年2月に山形で初めて発生をみており、その後岩手、茨木、福島、千葉県で発生があり、特に茨木、千葉では、まん延の傾向を示している。

疫学

豚以外の動物は、いずれも本ウイルス感染により急性経過をとり死亡するから、ウイルスはこれらの動物内で長く存在できない。不顕性感染あるいは発病耐過豚は様々なストレス(輸送、温度変化、密飼、妊娠等)が原因で発病したり、ウイルスを排出し他の豚に感染する感染源となっている。

症状

感染豚は、年令及びウイルス株の毒力により症状にかなり差がある。

幼若豚：新生豚が感染母豚から感染を受けた場合、36時間以内に発病し、嘔吐、下痢、元気消失、後退、施回運動、横臥状態での前がき、痙攣を示し、36時間以内に死亡する。3～4週令豚では、経過が長く致死率は40～60%である。

肥育豚：3ヶ月令以上の豚は、高率に感染するが、一部の豚のみが発病し、発病豚は、発熱、咳、便秘、元気食欲不振のあとにふるえ、嘔吐がみられ5日目ご

ろから神経症状、つまり痙攣、四肢の強直、起立不能となり、発病から8日間ぐらいの経過で死亡するものもある。

繁殖豚：妊娠豚の約50%は流産する。特に妊娠初期(約1ヶ月以上)に感染した際、胎児が死亡し黒子となることが多い。母豚の殆どは感染後5～8日の間に回復するが、まれに神経症状を示し死亡する場合がある。

予防

生ワクチン及び不活化ワクチンが一部の国では用いられている。しかし、ワクチンによる免疫は、発病は阻止し得るが感染は阻止できない。そればかりか、ワクチン接種群で本病の感染が長く持続するとも言われている。わが国の対策としてもワクチン使用は考えておらず、抗体陽性豚を摘発し、早期陶汰の方法をとっている。

(仙台家畜保健衛生所 病性鑑定課)

〈畜試便り〉

繁殖豚における自給率向上のための飼料給与技術の確立

西田茂

本試験は昭和54年から57年に山形県養豚試験場と共に実行なわれ、イタリアンライグラスサイレージ・ラジノクローバサイレージ、大麦ソフトグレーン(未乾燥貯蔵大麦)を年間を通じて、繁殖雌豚へ給与する技術を確立し、飼料の自給率向上、生産費の低減、繁殖障害発生率の減少を目的として実施した。

TCM東洋アチャトローグ



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

**TCM東洋運搬機株式会社
東北ティー・シー・エム株式会社**

983 仙台市日の出町3丁目9-35
電話 022-95-5511~5517

牧場用柵には
強くて美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元	東伸製鋼株仙台営業所
販売元	仙台市一番町二丁目7-5 TEL 277053 塙本商事機械株東北出張所
代理店	仙台市花京院二丁目1 TEL 627771 本山振興株式会社
	仙台市昭和町6番10号 TEL 346221

1.自給飼料利用の実態調査

宮城県100戸、山形県130戸の繁殖豚飼養農家を抽出し、アンケートにより実態と意識調査を実施した。宮城では、79%の農家が何らかの自給飼料を利用し、クローバー、イネ科牧草、コンフリー、飼料用カブの順に利用が多く、畔草、野菜クズも使用されていた。春から秋に青刈りで利用され、サイレージによる通年利用は、1戸であった。山形では25%が自給飼料を利用し、ラジノクローバー、飼料用カブが多かった。意識調査では、両県ともに自給飼料給与の効果を認め、今後の利用に積極的な回答が多かった。

2.イタリアンライグラスサイレージの利用技術

供試飼料の採食性調査、消化試験および給与試験を行なった。給与試験は、飼料中の風乾物比で15%、25%、30%を授乳期を除きサイレージを与えた。初産交配時より2産次後の再帰発情までを調査し、摂取量分量、繁殖成績、障害発生の有無等をサイレージ、無給与の対照区と比較した。

本サイレージのし好性は一般に低く、単味給与では残食が多くなった。濃厚飼料との混飼で採食量が増加し、長期間馴致された経産豚では、6.0kgを摂取した。消化率は全乾物で1番刈55%、2番刈66%となった。給与試験では、各試験区ともに養分摂取量に有意差はなく、また繁殖成績にも差はなかった。30%までのサイレージによる濃厚飼料の代替は可能であると考えられた。

3.大麦ソフトグレーンの利用技術

2.と同様に試験を行なった。本飼料の採食性は高かった。給与試験では、対照区と有意差はなかったが、産子の数と総体重が減少する傾向にあった。本試験とは別であるが、大麦の収穫の技術と土地利用面での制約が問題点としてあきらかになった。

4.ラジノクローバサイレージの利用技術

イタリアンに比較して採食性は優れていた。サイレージ醸酵品質の観点から、米ヌカ5%程度の添加が有効であり、消化率は乾物で62%となった。濃厚飼料の25%を代替した給与試験では、対照区と差はなかったが、やや再帰発情が早まることが認められた。

表1 供試飼料の成分 (%)

	水分	粗蛋白	粗脂肪	NFE	粗纖維	粗灰分	DCP	TDN
イタリアン ライグラス(1番)	71.5	5.1	1.4	10.9	7.4	3.8	3.0	15.7
" (2番)	73.1	5.1	1.2	10.1	6.6	3.9	3.3	17.0
ラジノクローバ	72.3	7.4	2.0	9.8	4.8	3.8	5.0	17.3
大麦ソフトライ グレン	27.3	8.3	1.0	55.9	5.4	2.1	4.7	54.2

表2 サイレージの1日1頭平均採食量 (kg)

試験 I	イタリアン			給与方法	試験 II		イタリアン	ラジノ
	単味	混飼	混飼		単味	飽食		
経産(1)	1.2±0.7	1.8±0.1	2.6±3.0	供試	去勢(1)	1.3±0.3	1.3±0.7	
供試豚	0.8±0.3	1.4±0.1	2.1±0.2	豚	経産(1)	6.2±0.4	7.5±0.2	

表3 自給飼料給与試験の成績

	イタリアン	ソフトグレン	イタリアンソフトグレン	イタリアン	ラジノ	イタリアンラジノ	%
風乾物中給与量	15	30	20	40	15	30	25
妊娠期 初産	36	73	50	100	139	129	51
採食量 2産	37	74	51	103	143	139	57
摂取量 初産	163	165	175	173	173	170	161
T D N 2産	179	179	179	182	178	182	163
授精回数 初産	1.3	1.7	1.7	1.3	1.7	1.3	1.0
回数 2産	1.5	2.5	1.0	1.7	2.0	1.7	2.0
分娩数 初産	10.0	10.0	9.0	9.0	9.0	9.7	9.3
子豚数 2産	10.5	10.5	8.0	9.0	11.0	9.0	10.3
発情再帰 初産	28	38	7	24	36	53	49
日数 2産	17	30	9	10	24	28	33
事故廃用頭数	1/3	1/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3
							頭

(これらの表は、実施場所、方法の異なる複数の試験を便宜的に組合せた)

5.自給飼料給与の経済性試算

繁殖豚専門経営で成豚7頭、育成豚2頭を有し、これに給与飼料中の成豚に25%、育成豚に12.5%のサイレージを与えた場合を試算した。イタリアンサイレージでは、年間飼料費の節減にはならないが、ラジノクローバでは5%の節減となると試算された。

(研究第二部 養豚科)

糞尿処理メーカーの糞尿専用

ヒドロポンプ

マイティ

マイティシリーズ
スラリーポンプ
ショットポンプ
ノンクロポンプ
ヒドロススリン

ヒドロポンプ 発売元

株式会社 東北加藤

983 宮城県泉市南光台二丁目22番15号
TEL. 0222-74-0781 (代表)

システム農業をクリエイトする

STAR

タフで働きものの
Mr. 3000 牧草梱包
Mr. 2000 稲わら梱包

THB 2000

スター農機株式会社

仙台営業所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内
0222-58-7301

私が見た頼もしい農業経営

私がこれから紹介する南方町の近藤秀太郎さんは、肉用牛一貫経営+肥育豚経営+米の複合経営を営んでいる。一般的な農家ならその規模の大きさと煩雑経営によりゆきずまりを生じてしまいそうな複雑経営態であるが、氏の経営に対する情熱と創意工夫による経営の省力化、合理化によりこの経営態を無理なく成り立たせ高所得を毎年安定的に得ている点、氏の努力に対して唯々敬服するのみである。

氏の発想の転換はすばらしく、経営の転換期をめざとく察知し、その難局を乗り越え、必ず経営の好転に結びつける経営手腕は他の追随を許さないものである。

1. 近藤さんの経営の軌跡

年 度	経 営 の 推 移
昭和9年	本人9才の時、父母とともに新潟県より入植、3haの水稻経営を行う。
〃 19年	結婚、昭和20年兵役
〃 23年	復員、耕地5.5haに拡大、堆肥取りとして繁殖豚1頭飼養。
〃 35年	繁殖豚10頭規模となり、肥育部門も導入して一貫経営となる。
〃 38年	繁殖豚25頭の一貫経営となる。(繁殖豚の最も多かった時期)
〃 45年	農地2ha取得。減反政策のため水田として利用できず、草地利用を図り、繁殖牛の導入を開始する。
〃 49年	繁殖牛部門拡大のため、総合施設資金を借入し、繁殖牛15頭となる。
〃 53年	糞尿処理問題が表面化し、また、労働不足から繁殖豚部門を廃止し、豚は肥育経営だけとなる。繁殖豚舎を改造して、肉用牛の拡大を図る。
〃 54年	肥育豚舎新築(500頭収容)。自家産の子牛が市場で思ひよくな価格で売れないため保留し、一貫経営を開始する。
〃 56年	糞尿処理問題解決と農地取得のため、総合施設資金(2回目)借入。

2. 近藤さんの経営状況

① 家族および労働力の構成

家族	年令	俗縁	従事日数	② 経営する土地・家畜	
				農 地	面 積
近藤 秀太郎	才 57	本人	200	水 田	411 a (うち45 a 転作)
す江子	57	妻	180	普通畑 牧草地	5 a 400 a (うち200 a 借地)
健 悅	34	長男	300		
喜恵子	32	長男の妻	250		
美 恵	9	孫		畜 種	規 模
昌 恵	4	"		肉用牛	繁殖成雌牛20頭 肥育牛15頭 育成牛17頭 肥育豚 350頭

③ 建物・施設等

種 類	数 量	面 積	種 類	数 量	面 積
牛 舎	3	172坪	ワラ小屋	1	45坪
豚 舎	2	282 "	堆肥舎	1	94 "
作業舎	1	70 "	サイロ	6	80m ³
乾燥舎	1	24 "			

④ 生産・販売実績

生産物	生産規模	生 产 产 (販売)量	単位当たり 価 格	販 售 額
肥育牛	一貫経営	14頭	743,217円	10,405万円
肉 豚	常時350頭	1,817頭	45,942円	83,477万円
米	366 a	275俵 (251)	20,723円	5,201万円

3. 複合化経営のポイント

肉用牛一貫経営+肥育豚+水稻の三本柱により、高い所得水準にある近藤さんの経営のポイントは、肉用牛経営のやり方である。繁殖牛現在20頭飼育から生れた子牛は、育成牛(2ヶ月令迄)として繁殖牛と同じ乾草、ワラ、サイレージの粗飼料主体の給与体系で押し通している。原則として育成牛の内雌牛は、一産は子取りし、その子牛の市場性、発育状態等を検討して、その母牛を繁殖牛として残すか肥育牛にするか決定している。これは、氏の観察における記録等の記帳技術が優れているからである。故に繁殖障害は皆無である。

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

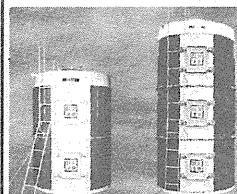
小田島商事株式会社

本 社 岩手県花巻市二枚橋第一地割296-5
TEL 0198(26)4151代)

吉川営業所 宮城県古川市稻葉字大江向179-1
TEL 02292(3)8888代)

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所

※ 肉用牛の飼養に是非サイレージを
※ 信頼性の高いステンレス気密サイロ



オリオン ミニスター

O S M - 10 10m³
O S M - 15 15m³

オリオン機械株式会社

仙台営業所 仙台市六丁目 T E L 94-0691代
仙北出張所 築館町字久伝 T E L 2-9242
仙南出張所 大河原町幸町 T E L 3-3355

繁殖と肥育経営は両立しないという定説を見事にくつがえし完全一貫経営を成功させた。

第二のポイントは、乾草生産のための創意工夫である。それは育苗ハウスを利用した太陽熱利用の乾草舎である。5.4m × 14.4m × 高さ4mほどの鉄骨総ファイロン張りの換気扇が一つ付いている、いたって簡単な施設である。草地で半乾草して梱包した草を育苗ハウス内にストックし、太陽熱を利用して乾草を生産する方法である。この方法だと乾草を雨に当てる心配がなく、栄養価の高い良質乾草を確実に生産し、しかも乾草生産にかかる労力軽減は莫大である。

4. 経営の成果

近藤さんは、これらの多角的複合経営を実際に見事に調和させている。総農業所得に占める割合を見ると、肉用牛40%，豚30%，米30%と三部門はバランスよく配置されている。

肉用牛部門について述べると、55年は9頭出荷すべて格付「上」、56年12頭出荷し、8頭「上」以上、57年14頭出荷し、8頭「上」以上の良好な結果を得ている。

5. 近藤さんから学ぶこと

これまで紹介して来た近藤さんの頗もしい農業経営は、いわゆる国が推奨する足腰の強い複合経営の超モデルとして位置付けられる。

近藤さんは、実践大学の研修生を受け入れるなど、農業後継者育成には熱心である。

このように、氏の経営は閉鎖的ではなく開放的である。しかし氏の経営をそのまま模写することは困難であろう。これから後の後継者に望む事は、氏の経営の模写ではなく、実践を通して氏の農業経営のセンスを少しでも自己の経営に反映されることである。

(追加畜保健衛生所 堂本島男)



“野草と土”

農業生産では「土づくり」が基本とされるが、近年地力低下が問題となっている。特に稻作については3年続きたる災害もあったが土づくりを怠ったことも不作の要因といわれている。

いま県下あげて土づくり運動が展開されているが、畜産と「土づくり」は密接不可分である。ここでそのことを云々するわけではない。畜産関係者には、どういうわけか山野草愛好家が意外に多い。常に家畜に接する関係で動に対する静というか、かれんで清楚なものにひかれるのであろうか、昔から「花好きに悪人はない」といわれているが、概して畜産人には人柄の良い人が多い。だから自らを飾る必要もなく、特に身構えなくとも気楽につきあえるのが野草だからであろう

か。ともあれ私達の仲間には野草についてそれぞれ一家言をもっている人が多いが、案外蔭では失敗を重ねていることが多いようである。私も野草とのつきあいはまだそんなに長くはないが、これまでの体験から山野草の育て方も土次第ということが分って来たような気がするのでおこがましくも「野草と土」について述べてみたい。

山野草には種類が多いが、今盛んに愛好されている野生ランの鉢植えの場合の用土としては、赤玉土、鹿沼土、桐生砂、日向砂、腐葉土等々あるが、基本的には通気性と水はけが良く、適当に保水力のあるものとされている。又単用ではなく2~3種類の混用が良い。「えびね」熱はここ2~3年来、またたく間に畜産界にまん延し、その収集量を誇っている人も多い。元来えびねは湿気を好むものと思込み水のかけ過ぎで根腐れすることが多いが、私の場合、鉢底に軽石のゴロを入れ、硬質赤玉に桐生砂か日向砂(何れも粗い粒のもの)を混ぜ、それに更に腐葉土を2割位混用しているが成績は良いようである。水ゴケを入れる人もあるが腐れ易くなるし、腐葉土の混ぜ過ぎも水持ちが良過ぎて根腐れのもとになる。モミ穀を入れるのも一方法である。えびねはどちらかというと乾燥気味に育てた方が良いようである。

「くまがい草」「あつもり草」の鉢植はむづかしい。特に「くまがい」の鉢植えは不向きであるが、水はけを良くし過湿にならないことが第一条件である。中粒の硬質鹿沼土1/2に腐葉土とモミ穀半分のものを1/2の用土で成功している。「うちょうらん、いわちどり」類には桐生砂と軽石に若干の腐葉土を混ぜている。又「さぎ草あさひらん」は鉢底に大粒の軽石を入れ水ごけ栽培でうまく育っているが古い水ごけ使用は禁物である。

自生地から採取した野草を鉢植えするときは根を洗うことが原則であり、1~2年で植替えることを励行することである。何気なく置かれた一鉢の野草に心の安らぎを覚えるのは年せいだろうか。(こよなく野草を愛し、培養して自然に返えそうと考えている一愛好家)。

“加美グリーンで豊かな土づくり”を

(製品届出番号一宮城県第731号)

名 称 加美グリーン
成分内容 本品は鶴糞等を高温度発酵させたもので、どの作物に使用されても害はありません。この施用により土壤pH8.6が保たれますので土壤改良資材として最適です。(水分30% N 2.60% - P 6.18% - K 3.19%)

包 装 1袋15kg(バラ販売可)で米状のため機械散布可能。

单 価 300円/袋(卸売270円) バラ1t 17,000円
製 造 加美コンポスト利用組合(加美郡色麻町黒沢字切付70) (TEL 02296(5)-4336)

畜産物市況の展望

豚肉 農水省の予測による10月の全国肉豚出荷頭数は177万頭で、前年同月比103%となっている。

デンマークの輸入問題は9月1日付で解禁となり10月上旬には日本到着が予想され、供給は潤沢でむしろ荷余り感となる。

一方、需要は例年停滞する時期であり今年も大きく伸びる要因がないことから、相場は下げるものと思われる。上物基準650~670円までの値動きか。

牛肉 10月の成牛全体の出荷頭数は118千頭と予測され、前年同月比102%程度と思われる。

特に和牛は、35千頭(対前年比106%)程度の出荷となり、輸入肉の出回りと併せ供給は潤沢である。

一方需要は、徐々に回復に向うものと思われるが、急激な消費回復は望めず、年末に向って出荷増傾向となる和牛について、中物以下の市況が心配される。

和牛(去)上物は2,100~2,200円、中物1,750円中心、乳用牛(去)中物1,300円中心の値動きか。
食鶏 プロイラー流通統計による10月の出荷羽数は、5,916万羽と予測され、前年同月比106%である。

一方、需要は行楽シーズンということもあり、比較的好調な月であるが、競合する豚肉価格、魚介類価格の動向にも左右されよう。

と体大型もので280円中心、正肉で620~650円の値動きか。

鶏卵 生産量は、春びなの産卵本格化、夏場の産み疲れ回復、強換明け鶏の産卵本格化などから漸増傾向となる。

一方、需要は運動会、遠足など学校行事関係需要をはじめ活発化が期待される。

10月の相場はM基準260~290円前後の推移が予測される。

飼料 飼料穀物相場は、世界の穀物主産国である米国が生産調整を実施し、さらに7月中旬以降中西部は熱波による高温乾燥の被害発生により約40%の大巾減産の予想発表があったことから、暴騰の相場展開である。

一方外国為替は今後も米国の金利堅調からドル高基調は続くものと思われることから、当面現状展開が予想される。以上の情勢から配合飼料の価格見通しは、期中値上げ必至の予想が業界の一般的な見方である。

値上げは、11月以降で大巾なものと思われる。配合飼料安定基金補填は実施の見込みである。

(宮城県経済連 食肉養鶏課 桜井)
" 飼料課 石井

肉用子牛価格安定方策に基づく 指定市場取引状況

[昭和58年度第1三半期(4~7月)]

宮城県肉用牛価格安定基金協会

標準規格牛				
性	頭数	平均取引価格	平均体重	生体kg当たり価格
		平均日令		
雌	697頭	245,228円	252kg	973円
雄	9	173,111	244	709
去	956	273,014	269	1,016
計	1,662	260,820	262	997
				294

(保証基準価格 - 標準取引価格) × 補てん率

(292,000円 - 260,820円) × 0.9

= 1頭当たり生産者補給金

= 28,062円

新刊図書案内

- ◎ 乳牛管理の実際 定価 500円
- ◎ 最新・肉用牛飼養と粗飼料生産 " 2,000円
- ◎ 粗飼料生産の新技術 " 1,300円
- ◎ 効率的な養豚技術 " 1,500円
- ◎ 畜産経営・自己診断の手順と方法 " 1,500円
- ◎ 昭和59年用・畜産手帳 " 600円

中央畜産会発行、お申込みは宮城県畜産会へ

川柳

おんな 営農課
山木 たみ

1. マンションを買って
買えないものひとつ
2. 帰る人帰して
女また一人



行事のご案内

行事名称	主催	とき	ところ	内容
農林水産祭参加	宮城県経済農業 協同組合連合会	昭和58年 10月3~6日	仙台中央食 肉卸売市場	黒・去80頭 褐・去15頭 雌30頭 ホル・去60頭
農林水産祭参加	宮城県畜産会	〃 10月18~20日	宮城県中央 家畜市場	黒・去85頭 雌30頭 ホル・去35頭
農林水産祭参加 昭和58年度宮城県 乳用牛・肉用牛共進会	宮城県畜産農業 協同組合連合会	〃 10月26~28日	小牛田 家畜市場	乳用牛 115頭 肉用牛 124頭
畜産機械器具展示会	宮城県畜産会	〃 10月27~28日	"	草地飼料作用機械施設 飼料貯蔵用施設 家畜ふん尿処理用施設 他

宮城県牛乳普及協会からのお知らせ

只今、妊娠婦の方に牛乳を特別価格でお届けしております。お申し込みについては、下記のとおりです。

お申し込みいただいた月の翌月1月から2ヶ月間 200ml入りを毎日1本、通常の家庭配達価格から20円引きでお届けします。

更に、契約期間終了後、6日間(毎日1本)無料でお届けします。

●対象 妊娠中、又は出産後1年以内の方。

●お申し込み期間 昭和58年7月1日から昭和58年12月31日まで。

●お申し込み方法 母子健康手帳をご持参の上、お近くの家庭配達をしている牛乳販売店にお申し込み下さい。

●お問い合わせ先 宮城県牛乳普及協会

TEL 0222(65)7688

尚、ご近所に妊娠婦の方がおられる場合は、このキャンペーンをお知らせ下さい。

—牛乳一口メモ—

妊娠婦のカルシウム所要量と牛乳による摂取度合

	通常	妊娠前期	妊娠後期	授乳期
カルシウム 所要量	600mg	1,000mg	1,000mg	1,100mg
牛乳 2本で	67%	40%	40%	36%

畜産機械器具展示会
開催のお知らせ

畜産関係施設機械の知識と利用技術の向上を図るために、宮城県乳用牛・肉用牛共進会付帯行事として展示会が開催されます。お説明のうえ多数ご参観下さいますようお知らせいたします。

●期日 10月27日(木)~28日(金) 2日間

●場所 遠田郡小牛田町北浦字中新田150
小牛田家畜市場

●展示施設機械

草地・飼料作用施設
飼料貯蔵用施設
家畜ふん尿処理用施設

●展示商社数 15社

人の動き

宮城県

退職(7月31日付)農政部技術副参事 丹野菊雄

宮城県畜産物価格安定基金協会

退職(6月30日付)常務理事 佐藤義光

8月1日付

新	旧	氏名
事務局長	新採用	丹野菊雄